

四種混合 (DPT - IPV) 予防接種のお知らせ



1 **対象者** 3か月（3か月になる日の前日）～7歳5か月（7歳6か月になる日の前日）

八王子市に住民登録がない状態で接種を受けると、**全額自己負担**となります。
なお、転出届の提出日ではなく、転出日から住民登録がなくなりますのでご注意ください。

2 **接種回数** 4回

接種回数		無料で接種できる年齢
1期初回	3回	3か月～7歳5か月
1期追加	1回	

3 **接種スケジュール**

無料で接種できる年齢	3か月～7歳5か月						
推奨接種年齢・期間	3か月～11か月					1歳6か月～2歳5か月	
接種回数・間隔	1回	中20日以上	1回	中20日以上	1回	6か月以上	1回

4 **予防する病気の特徴**

ジフテリア (Diphtheria)

ジフテリア菌の飛沫感染で起こります。症状は高熱、のどの痛み、犬吠様のせき、嘔吐などで、偽膜とよばれる膜ができ、呼吸困難や窒息を起こすことがあります。発病後、菌の出す毒素によって心筋障害や神経麻痺を起こすことがあります。

百日せき (Pertussis)

百日せき菌の飛沫感染で起こります。最初は鼻水や軽いせきの風邪のような症状を示します。やがて連続的にせき込むようになり、呼吸困難になることがあります。また、脳症や肺炎などの重篤な合併症を起こすことがあります。

破傷風 (Tetanus)

破傷風菌は人から人への感染はなく、土の中にいる破傷風菌が傷口から入ることによって感染します。最初は口が開かなくなるなどの症状で気づき、やがて全身のけいれんを起こすようになり、治療が遅れると死亡することがあります。患者の半数は、自分や周りの方でも気付かない程度の小さな傷が原因で発症しています。土の中に菌がいるため、感染する機会は常にあります。

ポリオ (Polio)

ポリオウイルスは人から人へ感染し、感染した人の便から排出されたウイルスが経口感染し、咽頭や腸で増殖します。ほとんどの場合は発症しないか軽い風邪のような症状ですが、ウイルスが血液を介して脳や脊髄に感染した場合、筋肉が麻痺することから、『小児まひ』とも呼ばれます。感染者のうち100人中5～10人は風邪様の症状や発熱に続き、頭痛や嘔吐の症状が現れます。また感染者のうち1,000～2,000人に1人の割合で手足の麻痺が現れるといわれています。

5 ワクチン接種の効果と副反応

【効果】

ジフテリアワクチン

ジフテリアにかかるリスクを95%程度減らすことができると報告されています。

百日せきワクチン

百日せきにかかるリスクを80～85%程度減らすことが出来ると報告されています。

破傷風ワクチン

100%近い方が十分な免疫を獲得すると報告されています。

不活化ポリオワクチン

ほぼ100%の方に抗体が産生されると報告されています。

【副反応】

局所反応として、注射した部位の赤み、腫れ、しこり等があります。この局所反応は、数日で自然に治まることが多いです。しこりは少しずつ小さくなりますが、数か月残ることがあります。全身反応としては、発熱、鼻水やせき、下痢、不機嫌、発疹が出ることもあります。非常にまれですが、アナフィラキシー()などの重大な副反応があるといわれています。通常反応のほか何らかの異常(けいれん・高熱など)が強く出た場合には、速やかに医師の診察を受け、保健所健康政策課へ連絡してください。

アナフィラキシー：通常接種後約30分以内に起こるひどいアレルギー反応のこと。顔が急に腫れる、全身にひどいじんましんが出る、息苦しい、嘔吐などの症状やショック状態になるような、激しい全身反応のこと。

6 健康被害救済制度

定期予防接種を受けて重篤な健康被害が発生し認定された場合には、予防接種法の規定に基づき、健康被害に対する給付が行われます。

【お問合せ先】

八王子市保健所 健康政策課 〒192-0083 八王子市旭町 13-18 645-5102/FAX 644-9100